



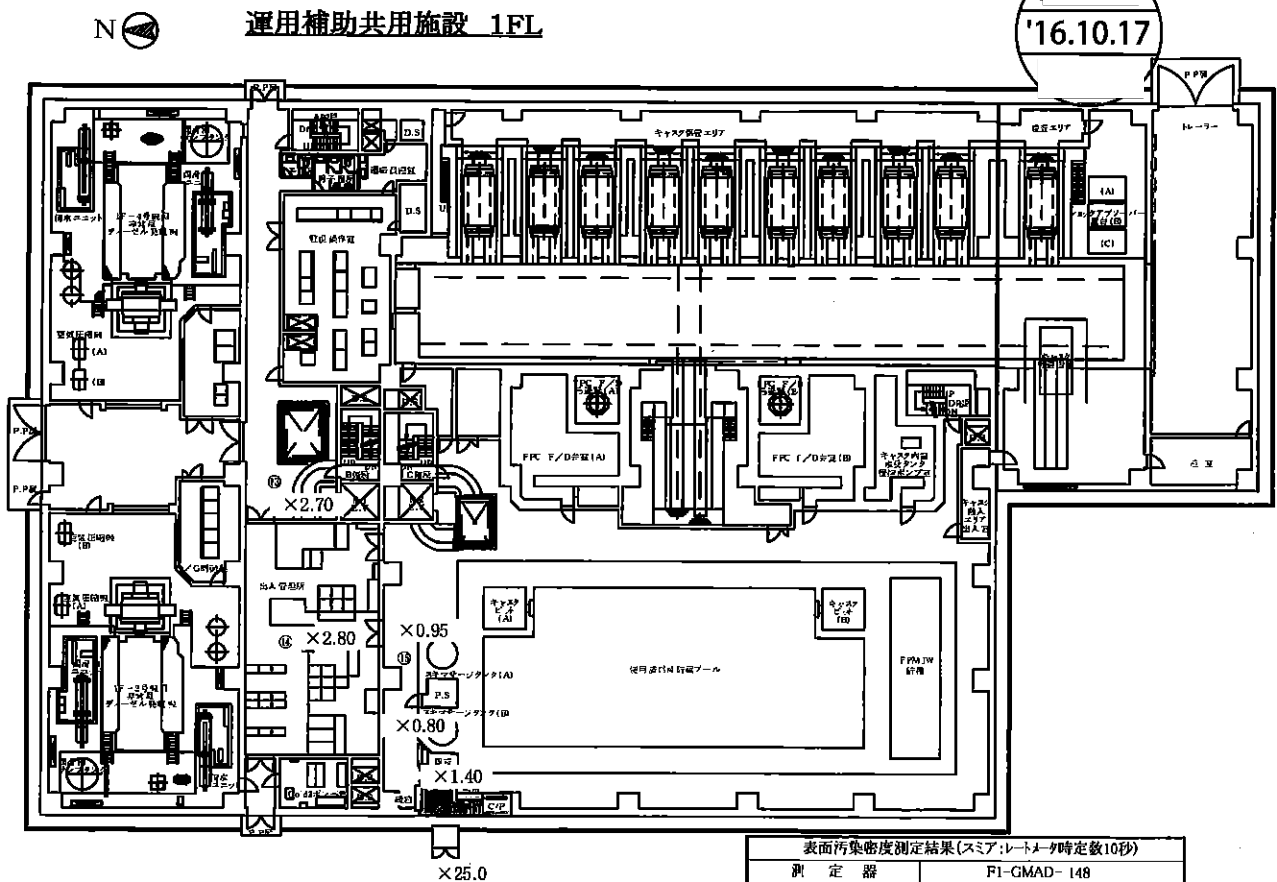
# 放射線管理記録

放管責任者	Gr責任者	担当者

(1/2)

作業件名	1F共用プール補機冷却系プロセス放射線モニタ警報発生対策業務			測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta\gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> スミア <input type="checkbox"/> ダスト
測定場所	運用補助共用施設 1FL・B1FL			測定者	
作業内容 (測定目的)	放射線モニタ警報発生対策の現場調査 (上記内容に伴う、環境確認サーベイ)			測定器	F1-SC-143 F1-GMAD-148
				区域区分	Yzone
				防護装備 & 措置	不織布カバーオール+全面マスク
測定日時	平成 28 年 9 月 29 日 8時 30分～			特記事項	データ提出対象外
件名コード	B160VB	RWA 番号	—		
原子炉停止後	—	日目	—		

○:スミアポイント ×:空間線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ⊗:表面線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ▲:ダストポイント



測定種別	最大値	単位
線量当量率( $\gamma$ )	25.0	$\mu\text{Sv/h}$
表面汚染密度	3.0E+0	Bq/cm <sup>2</sup>

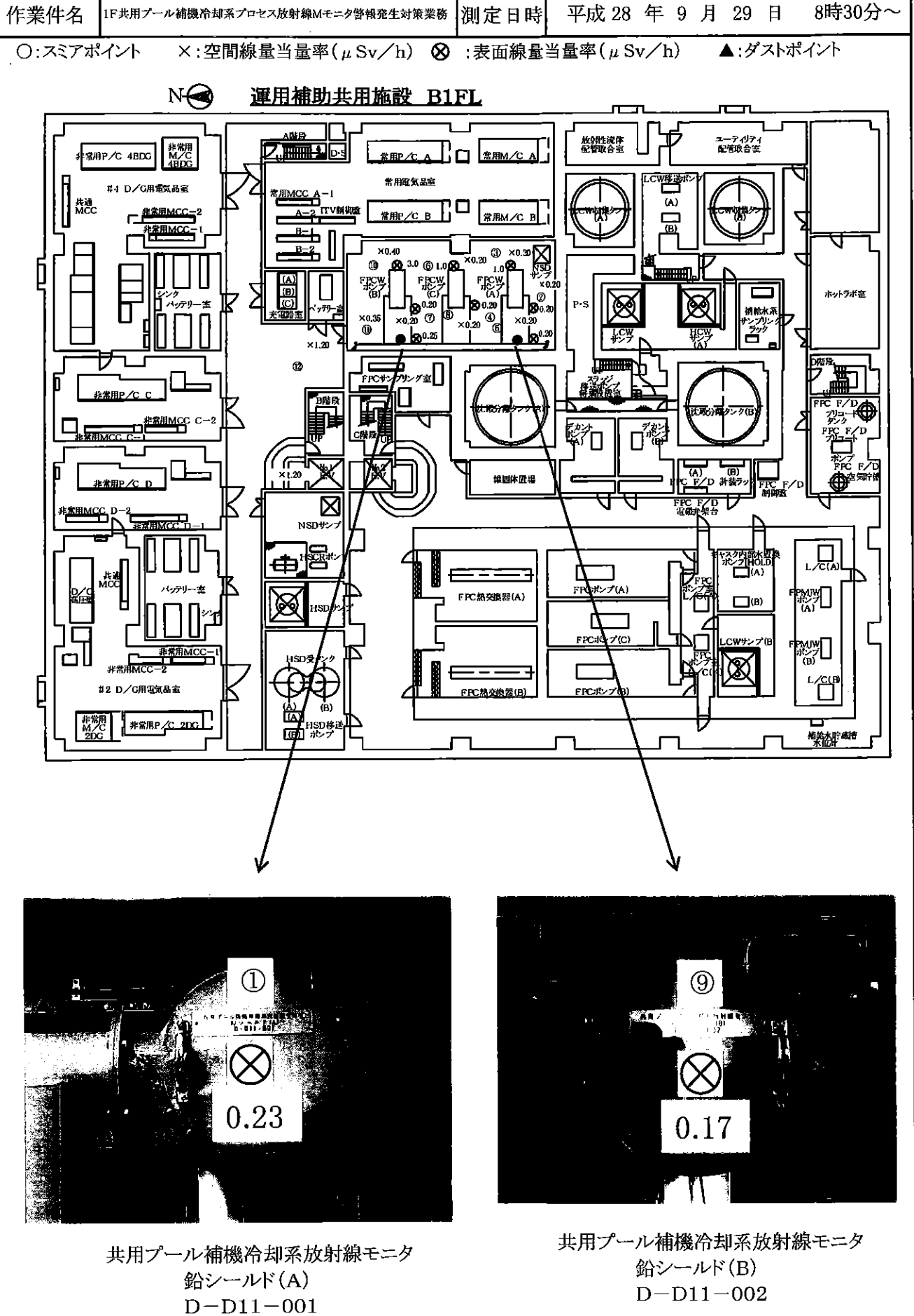
表面汚染密度測定結果(スミア:レポート時定数10秒)		
測定器	F1-GMAD-148	
換算定数(スミア試取効率0.5)	2.73E-3 Bq/cm <sup>2</sup> ·cpm	
B・G測定値	100 cpm	
検出限界値 (LTD)	スミア試取効率0.1	1.2E+0 Bq/cm <sup>2</sup>
	スミア試取効率0.5	2.4E-1 Bq/cm <sup>2</sup>
	NETcpm	88 cpm

※スミア試取効率が0.1の場合は表面汚染密度を5倍で補正する

No	GROSS (cpm)	NET (cpm)	値 (Bq/cm <sup>2</sup> )	スミア 試取効率	採取場所
1	400	300	8.2E-1	0.5	モニタ(B)
2	450	350	9.6E-1	0.5	床面
3	400	300	8.2E-1	0.5	〃
4	450	350	9.6E-1	0.5	〃
5	800	700	1.9E+0	0.5	配管表面
6	250	150	4.1E-1	0.5	床面
7	600	500	1.4E+0	0.5	〃
8	1200	1100	3.0E+0	0.5	〃
9	500	400	1.1E+0	0.5	モニタ(A)
10	500	400	1.1E+0	0.5	床面
11	300	200	5.5E-1	0.5	〃
12	500	400	1.1E+0	0.5	〃
13	250	150	4.1E-1	0.5	〃
14	400	300	8.2E-1	0.5	〃
15	250	150	4.1E-1	0.5	〃

## 放射線管理記録

別紙(2/2)



## 放射線管理記録

放管責任者	Gr責任者	担当者

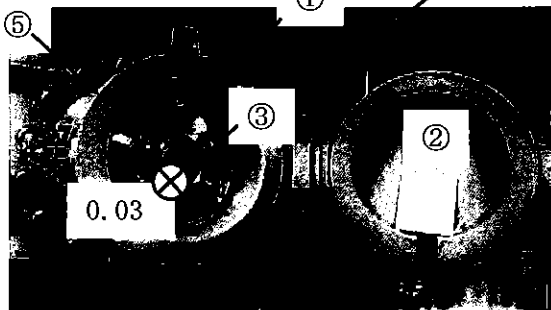
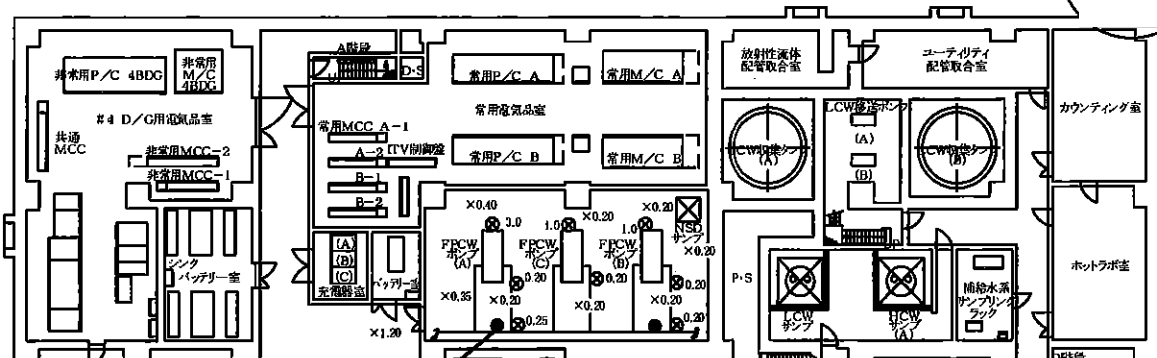
(1/1)

作業件名	1F共用プール補機冷却系プロセス放射線Mモニタ警報発生対策業務			測定項目	■ $\gamma$ □ $\beta\gamma$ ■スミア □ダスト
測定場所	運用補助共用施設 B1FL			測定者	
作業内容 (測定目的)	鉛シールド(A)開放点検 (D-D11-001)			測定器	F1-SC-143 F1-GMAD-148
	(上記内容に伴う、環境確認サーベイ)			区域区分	Yzone
測定日時	平成 28 年 10 月 5 日 7時 30分～			防護装備 & 措置	不織布カバーオール+全面マスク
件名コード	B160VB	RWA 番号	—	電気 出力	— MW
原子炉停止後	— 日目			炉水位	—
				特記事項	データ提出対象外

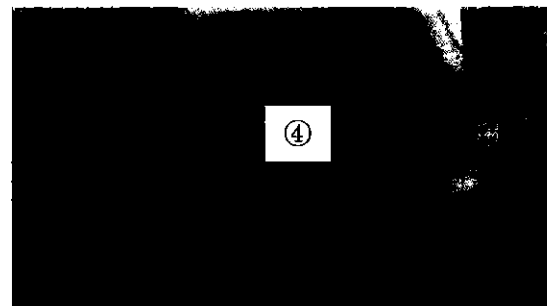
○:スミアポイント ×:空間線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ⊗:表面線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ▲:ダストポイント

運用補助共用施設 B1FL

'16.10.17



鉛シールド (A)

プロセス放射線モニター  
D-D11-001

測定種別	最大値	単位
線量当量率( $\gamma$ )	3.0	$\mu\text{Sv/h}$
表面汚染密度	1.4E+0	Bq/cm <sup>2</sup>

表面汚染密度測定結果(スミア:レトメータ時定数10秒)			
測定器	F1-GMAD-148		
換算定数(スミア拭取り効率0.5)	2.73E-3 Bq/cm <sup>2</sup> ·cpm		
B.G.測定値	500 cpm		
検出限界値 (LTD)	スミア拭取り効率0.1	2.4E+0 Bq/cm <sup>2</sup>	
	スミア拭取り効率0.5	4.9E-1 Bq/cm <sup>2</sup>	
	NETcpm	178 cpm	

※スミア拭取り効率が0.1の場合は表面汚染密度を5倍で補正する

No	GROSS (cpm)	NET (cpm)	※(Bq/cm <sup>2</sup> )	スミア 拭取り効率	採取場所
1	1090	500	1.4E+0	0.5	鉛シールド表面
2	500	0	<LTD	0.5	鉛シールド内表面
3	500	0	<LTD	0.5	モニター内表面
4	500	0	<LTD	0.5	モニター表面
5	1090	500	1.4E+0	0.5	鉛シールド配管内表面

## 放射線管理記録

放管責任者	Gr責任者	担当者

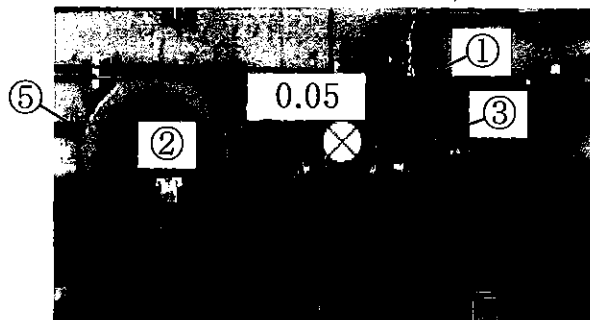
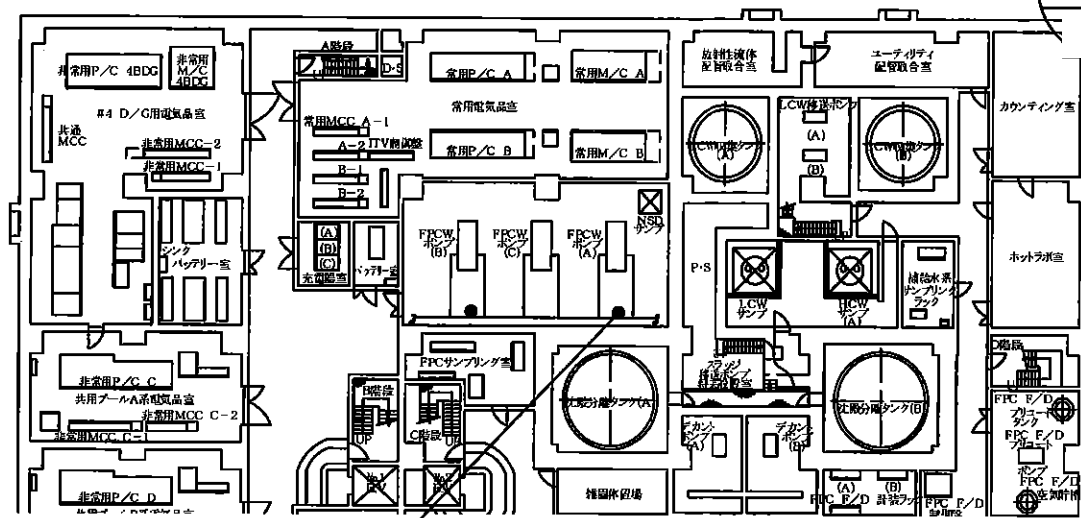
(1/2)

作業件名	1F共用プール補機冷却系プロセス放射線Mモニタ警報発生対策業務				測定項目	<input checked="" type="checkbox"/> $\gamma$ <input type="checkbox"/> $\beta \gamma$ <input checked="" type="checkbox"/> スミア <input type="checkbox"/> タスト	
測定場所	運用補助共用施設 1FL・B1FL				測定者		
作業内容 (測定目的)					測定器	F1-SC-143 F1-GMAD-148	
	鉛シールド(B)開放点検 (D-D11-002)				区域区分	Yzone	
	(上記内容に伴う、環境確認サーベイ)				防護装備 & 措置	不織布カバー・オール+全面マスク	
測定日時	平成 28 年 10 月 6 日      7時 30分～				特記事項		
件名コード	B160VB	RWA 番 号	—	電気 出力		データ提出対象外	
原子炉停止後		—	日目	炉水位：		—	

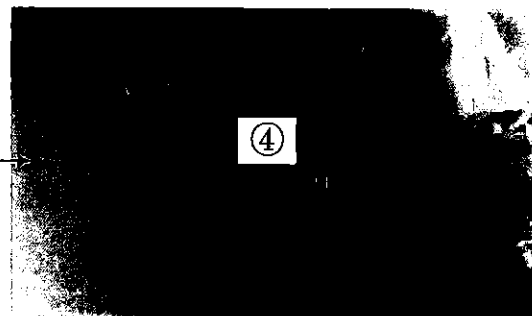
○:スミアポイント      ×:空間線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ )      ⊗:表面線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ )      ▲:ダストポイント

N  運用補助共用施設 B1FL

'16.10.17



鉛シーールド (B)



プロセス放射線モニタ  
D-D11-002

測定種別	最大値	単位
線量当量率( $\gamma$ )	7.5	$\mu$ Sv/h
表面汚染密度	2.7E+0	Bq/cm <sup>2</sup>

表面汚染密度測定結果(スミア:レドメータ測定数10秒)		
測定器	FI-GMAD-148	
換算定数(スミア採取効率0.5)	2.73E-3 Bq/cm <sup>2</sup> ・cpm	
B.G.測定値	500 cpm	
検出限界値 (LTD)	スミア採取効率0.1	2.4E+0 Bq/cm <sup>2</sup>
	スミア採取効率0.5	4.9E-1 Bq/cm <sup>2</sup>
	NETcpm	178 cpm

※スミア拭取効率が0.1の場合は表面汚染密度を5倍で補正する

No	GROSS (cpm)	NET (cpm)	※(Bq/cm <sup>2</sup> )	スリ 採取効率	採取場所
1	1500	1000	2.7E+0	0.5	鉛シールド表面
2	500	0	<LTD	0.5	鉛シールド内表面
3	500	0	<LTD	0.5	モニタ内表面
4	500	0	<LTD	0.5	モニタ表面
5	1000	500	1.4E+0	0.5	鉛シールド配管内表面

# 放射線管理記録

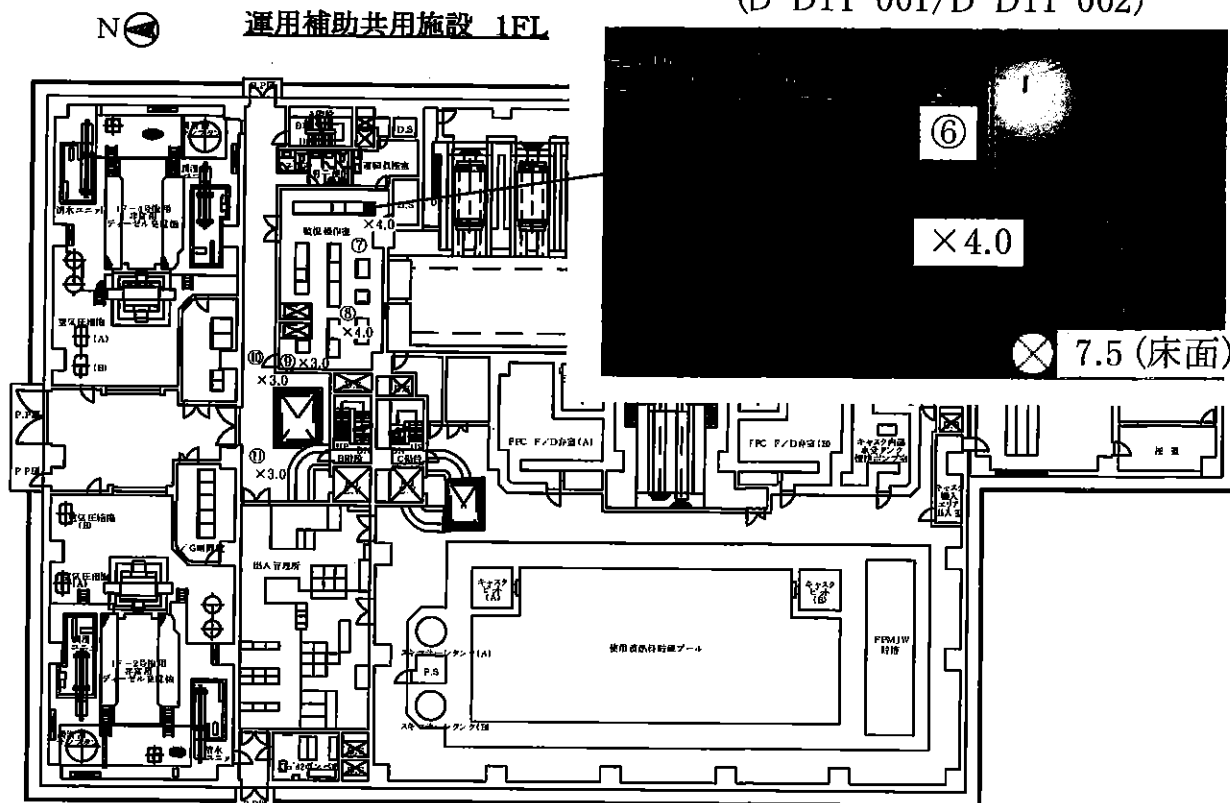
P-19

別紙 (2/2)

作業件名 IF 共用プール補機冷却系プロセス放射線モニタ警報発生対策業務 測定日時 平成 28 年 10 月 6 日 7時30分～

○:スミアポイント ×:空間線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ⊗:表面線量当量率( $\mu\text{Sv/h}$ ) ▲:ダストポイント

監視操作室  
エリア/プロセス放射線モニタ盤  
(D-D11-001/D-D11-002)



表面汚染密度測定結果(スミア:レートメータ時定数10秒)			
測定器	FI-GMAD-148		
換算定数(スミア拭取効率0.5)	2.73E-3 Bq/cm <sup>2</sup> ・cpm		
B.G.測定値	500 cpm		
検出限界値 (LTD)	スミア拭取効率0.1	2.4E+0 Bq/cm <sup>2</sup>	
	スミア拭取効率0.5	4.9E-1 Bq/cm <sup>2</sup>	
	NETcpm	178 cpm	

※スミア拭取効率が0.1の場合は表面汚染密度を5倍で補正する

No	GROSS (cpm)	NET (cpm)	※ (Bq/cm <sup>2</sup> )	スミア 拭取効率	採取場所
6	1000	500	1.4E+0	0.5	盤表面
7	1500	1000	2.7E+0	0.5	床面
8	1200	700	1.9E+0	0.5	#
9	1300	800	2.2E+0	0.5	#
10	1200	700	1.9E+0	0.5	#
11	1000	500	1.4E+0	0.5	#